

平成28年度(2016年度)

管理事業名	シティプロモーション事業				総合計画の 体系	第7章 第1節	活力あふれにぎわいのあるまちづくり 地域の特性を生かした産業の振興			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	7	商工費	(項)	1	商工費	(目)	2	商工振興費
部局名	都市魅力部	予算執行所属		シティプロモーション推進室						
予算大事業名 商工業振興事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)総務費(項)総務管理費(目)シティプロモーション費 一般事務事業、シティプロモーション事業、「地方の時代」映像祭支援事業、大学のあるまちづくり事業								
事業の目的と概要										
全国的に人口減少・少子高齢化が急速に進んでいる中で、将来にわたり本市が持続的に発展し続けるために、本市が持つ魅力を積極的に発掘・発信し、市民にとって「住み続けたい」「このまちに住んで良かった」といった市への愛着や誇りが醸成される取組を実施します。										
主な事業内容は次のとおりです。										
・シティプロモーション事業(市民にとって市への愛着を高める取組を行います。)										
・「地方の時代」映像祭支援事業(本市で開催される全国規模で唯一のドキュメンタリー映像祭典を地元市として支援します。)										
・吹田まつり補助事業(市民相互の交流や親睦を図ることを目的とした、市民主体による市民に愛される吹田まつりを実施します。)										
・観光企画推進事業(地域経済の活性化を図ることを目的に、地域の特性を生かした観光施策を実施します。)										
・情報発信プラザ事業(市の情報発信施設である「吹田市情報発信プラザ(Inforest すいた)」の管理運営を行います。)										

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果指標の定義
吹田まつり協賛、協力団体数	件 (延べ)	469	471	463	吹田まつりへの協賛、協力団体数(目標件数:前年度以上)
すいたんのSNS発信回数	回	-	-	255	すいたんのSNS(ツイッター・フェイスブック)発信回数 [目標件数:毎日発信(ただし、市役所閉庁日は除く)]
成果の説明	市内最大のイベント「吹田まつり」の財源は、補助金のほか事業所からの協賛金により成り立っています。経済情勢の影響はありますが、毎年同規模の協賛件数を維持する必要があります。 吹田市イメージキャラクター「すいたん」がツイッターやフェイスブックを通じて市の魅力やイベント告知など様々な情報を広く発信しています。ガンバ大阪関連の投稿文では、ガンバファンとすいたんファンの相乗効果でフォロワー数が増える傾向にあります。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	164	290	553	264
経常収入 小計(a)	164	290	553	264
給与関係費	25,410	32,015	69,933	37,918
物件費	14,899	40,516	29,037	△11,479
維持補修費	-	-	120	120
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	14,937	12,314	15,039	2,725
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	564	947	1,032	85
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,776	2,126	4,944	2,817
退職手当引当金繰入額	1,321	6,707	34,962	28,255
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	58,907	94,626	155,067	60,442
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△58,742	△94,336	△154,514	△60,178
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△58,742	△94,336	△154,514	△60,178
一般財源充当額	58,914	99,615	120,957	21,342
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	172	5,280	△33,557	△38,837

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	職員人件費、非常勤職員報酬 ほか 組織改正による職員4名の増員及び非常勤職員1名の配置による 37,918千円の増
物件費	観光企画推進事業委託業務 5,716千円 情報発信プラザ運営業務 10,163千円 情報発信プラザ賃料 5,702千円 (新規)(仮称)吹田市シティプロモーション戦略プラン策定支援委託業務 5,999千円 ほか 前年度の都市魅力発信業務(吹田本の作成)の改訂部数精査により費用が減少しています
負担金・補助金・交付金等	歴史街道推進協議会加入負担金 100千円 「地方の時代」映像祭分担金 1,000千円 まち案内事業補助金 263千円 吹田まつり補助事業 12,600千円 情報発信プラザ施設管理負担金 899千円 ほか

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	164	290	553	264
行政サービス活動支出	59,079	89,583	121,510	31,927
行政サービス活動収支差額	△58,914	△89,293	△120,957	△31,663
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	10,322	-	△10,322
投資活動収支差額	-	△10,322	-	10,322
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△58,914	△99,615	△120,957	△21,342
一般財源充当額	58,914	99,615	120,957	21,342
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
情報発信プラザ (Inforestすいた)来訪者1人あたりのコスト	平成26年度	-	-	情報発信プラザ(Inforestすいた)来訪者数1人あたり88円のコストがかかっています。(経常費用のうち「情報発信プラザに関する経費」(22,595千円)を「実績」で割って算出しています。)平成27年度は11月中旬に観光センターがEXPOCITY内に移転したため工事費用や初年度調整等の初期経費が発生しましたが、好立地条件から多くの来訪者がありました。平成28年度は2年目で来訪者数は減りましたが、初期経費がかからなくなったため単位あたりのコストは減少しています。
	平成27年度	200,536 人	229 円	
	平成28年度	255,867 人	88 円	
市民1人あたりのコスト	平成26年度	-	-	市民1人あたり420円のコストがかかっています。
	平成27年度	-	-	平成29年3月31日現在の吹田市人口で算出しています。
	平成28年度	369,522 人	420 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	2,126	4,944	2,817
流動資産	-	-	-	地方債	-	-	-
未収金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	2,126	4,944	2,817
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	9,892	8,860	△1,032	固定負債	26,204	55,911	29,707
事業用資産	-	-	-	地方債	-	-	-
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	9,892	8,860	△1,032	退職手当引当金	26,204	55,911	29,707
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	200	200	-	負債の部合計	28,330	60,855	32,525
固定資産	-	-	-	純資産	△18,238	△51,795	△33,557
有形固定資産	-	-	-	地方債	-	-	-
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	26,204	55,911	29,707
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
重要物品	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
図書館資料	-	-	-	負債及び純資産の部合計	10,092	9,060	△1,032
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	10,092	9,060	△1,032				

Ⅲ 財務構造分析

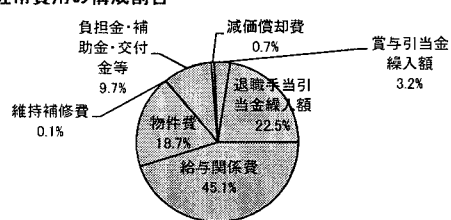
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事証日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
	8人	0.75人	116日	8人	109,839
給与関係費等	104,388千円	2,838千円	2,613千円	0千円	
内、時間外勤務手当	7,380千円				

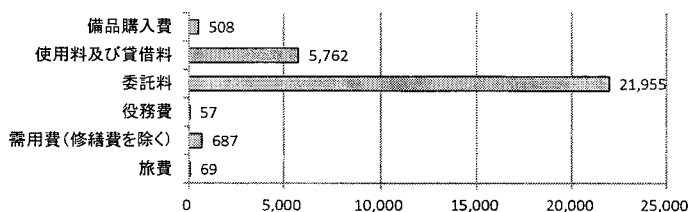
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	情報発信プラザ(Inforestすいた)減価償却による1,032千円の減
無形固定資産	すいたんにかかる著作権

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	情報発信プラザ(Inforestすいた)
取得年月日	平成27年(2015年)10月1日
建物・工作物の取得価額	10,322 千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,462 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		-	-	1.2	1.2
施設老朽化比率		69.2	4.2	14.2	10.0
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.7	99.7	99.5	△0.2
経常費用対公共資産比率		209.0	916.8	1502.3	585.5

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は53.9%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

前年度の管理事業名は、観光施策関連事業で構成されていたため「観光振興事業」としていましたが、新設部署となり人員が増え、観光関連事業に加え新規事業、移管事業があったため、それらを包括する管理事業名として「シティプロモーション事業」に名称変更しました。そのため、単位あたりのコスト分析欄の指標「市民1人あたりのコスト」については、人員体制や事業内容が異なり前年度比較できないため平成28年度のみの記載となっています。

経常費用の主なものにつきましては、給与関係費が69,933千円(45.1%)、退職手当引当金繰入額が34,962千円(22.5%)、賞与引当金繰入額が4,944千円(3.2%)の職員人件費と物件費29,037千円(18.7%)です。人件費が前年度より大幅に増加しているのは、組織改正による職員4名の増員と7月からの非常勤職員1名の採用によるものです。物件費については委託料が大半を占めていますが、前年度に比べ減少しているのは、吹田の魅力を集めた情報誌「吹田本」と「別冊 吹田本」、外国語版パンフレットを EXPOCITYの開業にあわせ発行しましたが、平成28年度は改訂部数を精査したことによるものです。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

新しい組織体制となり、本市のシティプロモーションを推進していくための大きな方向性を定めた「吹田市シティプロモーションビジョン」を策定しました。今後は、本ビジョンに基づき、庁内横断的にさまざまな取組を展開してまいります。

また、地域の特性を生かした観光施策を推進していくため、好立地にある情報発信プラザ(Inforestすいた)を拠点に、市内回遊につながるフェアやイベントを実施し、地域経済の活性化を図ります。